

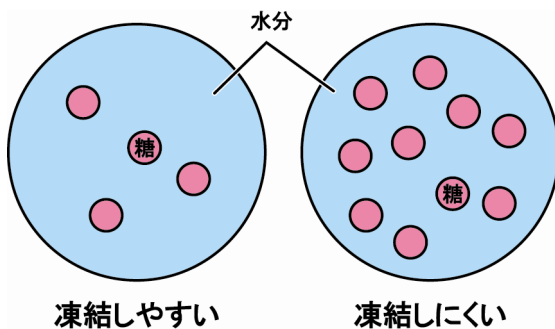
## 露地作の霜害、凍結対策は万全に！！

### 【厳寒期の対策には】

いよいよ冬本番。

露地ものを作付されている方にとっては、低温による症害が心配な季節となりました。

植物の細胞は、凍ると水分の膨張で破れてしまいます。できるだけ凍らせないようにするためには、植物体内の水分を糖分の含んだものに変えることが対策となります。つまり、同化作用(光合成)を盛んにして体内に糖分を蓄積させるか、強制的に糖分を含ませる作業が必要となります。



### 【糖分と凍結の関係】

ホウレンソウやハクサイは、霜に当てると甘みが増すと言われています。

これは、作物が凍結から身を守るために、体内の水分を減らし、糖の濃度を高めているためです。

他にも、普通の水より砂糖水の方が凍りにくいなど、糖分を含んだ水は凍結温度（氷点）が下がる性質があります。

### 【具体的な方法】

#### 1. 同化作用を盛んにして糖分を蓄積させる方法

作物は同化作用(光合成)をすることで、作物体内で糖類を生成します。

リン酸は同化作用を活発にし、作物体内の糖分の蓄積を促進します。

#### 2. 葉面散布によって強制的に糖分を含ませる方法

作物は根からの養分吸収以外に、葉面からも養分を吸収することができます。また、根から吸収するよりも速効的に肥効が現れるため、急な冷え込みなどの対応にも効果的です。

糖分主体の葉面散布材を施用することで、作物体内の糖分濃度を速効的に高めるとともに、葉表面に糖分の膜を作り、霜や凍結などから葉面を保護します。

### 【施用例】

#### ☆雨の後の冷え込みに

**MリンPK**・・・ 15～20kg/10a 当たり (降雨前に施肥)

微生物によって発酵処理させたリン酸肥料。通常では 5～15%程度しか吸収されないリン酸を特殊な技術で発酵させることにより、50～90%程度まで吸収率を高めました。リン酸は作物の光合成を活発にし、作物自身による糖分生成を助けます。



#### ☆霜注意報の情報が出たとき

**リーフSG**・・・ 1000倍液 (葉面散布)

天然多糖類である「プルラン」や「トレハロース」を主体とした葉面保護材。葉面から糖分を吸収させることにより、作物体内の糖分濃度を高めます。また、葉表面に糖類の膜を作ることで、霜や凍結から葉面を保護します。



#### ☆低温ぎみで、生育が鈍っているとき

**Pフォスタ**・・・ 1000倍液  
**リーフアップN**・・・ 500倍液 } (混用葉面散布)

【Pフォスタ】リン酸を速攻的に吸収させることを目的とした葉面散布材。微生物によって発酵処理されているので、リン酸の吸収効率がよく、作物の光合成能力を高めて糖分生成を促進します。



【リーフアップN】チッ素主体の葉面散布資材。低温で根が弱り、根からの養分吸収が充分に行えない場合などに効果的です。また、微量元素も豊富に含んでいるため、厳寒期の微量元素欠乏対策にも有効です。

